

～育てたい資質・能力(めざす子ども像)～

- 道順を伝えることができる。(知識・技能)
- 既習表現を用いて道順を伝えようとしている。(思考・判断・表現)
- 相手に配慮して道案内をしようとする。(主体的に学習に向かう態度)

<評価の方法>

- ・授業内での見取り・聞き取り
- ・ALTとのやりとり
- (ファイナルタスク:
1対1で、英語を使い、道案内をする)

単元目標の達成

本時の重点ポイント3つ

◎4人での話し合い活動

- 1**
- ・表現の確認
 - ・小グループでの意見交換・合意形成

◎相手意識

- 2**
- ・正しく・適切に
 - ・その道順を選んだ理由づけ

対象

A L T

実

目的

- ・実践によるコミュニケーションの楽しさの実感や意欲向上
- ・相手意識を持ったやりとり

ツール

- ・場の設定
- ・ICT活用(プロジェクター上の地図にポインターで道順を示す。)

対象
グループ

協

目的

- ・最適表現をめざした比較・選択
- ・相手意識を持った理由付けへの高まり

ツール

- ・道順カード(目的地までの道順を並び替える)
- ・ICT活用(写真投影、プロジェクターに指示を投影)

対象
個人内

知

目的

- ・既習事項の想起
- ・新出単語・語句の整理
- ・交流の材料づくり

ツール

- ・ワークシートの工夫

◎伝えるための工夫

- 3**
- ・視覚的アプローチ
 - ・シンプルイングリッシュ

必然性のある学習課題設定の工夫

◎ALTに道案内をする

<場面> 校門を出てすぐ、ALTに島本町のおすすめスポットを聞かれた。
周りには自分しかいない。さて……。